

本時の学習課題

ALT に日本の魅力を紹介するスピーチ原稿を書こう

本校で育成する資質・能力

(教科) 思考力・判断力・表現力 (学校) 主体性、コミュニケーション能力

- 1 日時 令和7年10月17日(金) 13:30~14:20
- 2 学年 第3学年2組 (男子14名 女子14名 合計28名)
- 3 場所 本館3F 3-2教室

4 単元について

○ 単元観

本単元は、『中学校学習指導要領外国語編』の目標「(5) 書くこと」イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。」を中心に、複数領域にまたがる統合的な言語活動を進めることのできる単元である。これらの力の育成にあたり、本単元の価値は次の通りである。一つ目は、教科書のモデル文読解を通して、「Introduction(導入部)」「Body(本論)」「Conclusion(結論)」という英語のパラグラフの3部構成を学ぶことができることである。二つ目は、文の結束性を強める代名詞、接続詞などを用いることで、生徒は文と文の相互の関連に留意しながら、内容的にまとまりのある文章を書くことができるようになると期待できることである。三つ目は、自分たちが考える日本の魅力を発信するという身近な題材は生徒の表現しようという意欲を喚起させ、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養えることである。本単元は、日本の文化を代表する風物や伝統行事を扱っている。国際交流の授業で、カナダのバンクーバーの生徒から、日本文化について詳しく知りたいというビデオレターが届いたという場面設定のもと、単元の最後には、日本文化を紹介するパンフレットを作成するという活動が設定されている。本校では、独自の活動として、尾道に住んでいるALTを始め、本校の卒業生が通うアメリカの高校の生徒など外国の人々に向けて、日本の魅力を伝えるパンフレットを作成する活動を設定する。何をどのように説明するかを考え、外国人に日本の魅力が伝わるよう説得力のある文章にするためにどう表現すればよいか工夫する中で表現力が高まると期待できる。

以上のことから、本単元はねらいを達成するのに適した単元であるとともに、パンフレットを完成する過程で生徒同士やALTとやり取りを行うことで、5領域を総合的に育成する上でも適した単元であると考えられる。

○ 生徒観

本学年の生徒は、ペアやグループでの活動において他者と協力して学習を進めることができおり、意欲的に学習に取り組む生徒が多い。令和7年8月に実施した生徒アンケート〔表2〕の結果から、「話すこと」(38.6%)及び「書くこと」(27.1%)などの表現活動に苦手意識を持っている生徒が多い。〔表1〕の「自分の気持ちや考えを簡単な英語で表現することができる。」という項目についても否定的評価が24.3%あり、表現力に自信がないことが分かる。これは、「文法やルールがたくさんあって難しい。」「自分の考えを伝えるときに単語がわからない。」という記述からも見られるように、自分の気持ちを表現するための基本的な語彙や文法などの定着が不十分であることが要因として考えられる。また、「文の構成を考えることが難しい。」「自己表現で、自分で正しい順序で文章を作ることが難しい。」という記述もあった。これは、伝えたい内容を聞き手に分かりやすい展開にするなど、話す内容を整理し、構成することに難しさを感じていることが原因であると考えられる。そこで、自分の気持ちや考えを表現するための語彙や表現の習得を図るために、ペアやグループでの表現活動を積み重ねるとともに、まとまりのある英文を書かせる場を設定し、自信を持って表現できるようにすることが必要である。

〔表1〕 令和7年8月生徒アンケート (3学年全生徒に実施)				
項目	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
英語の授業に、意欲的に取り組んでいる。	42.9%	47.1%	10.0%	0%
自分の気持ちや考えを簡単な英語で表現することができる。	35.7%	40.0%	18.6%	5.7%
自分の考えを表現するときには、自分の考えがうまく伝わるように、話の組み立てを工夫して表現している。	25.7%	48.6%	20.0%	5.7%
英語の授業で難しいことでもあきらめないで努力している。	35.7%	42.9%	18.6%	2.9%

〔表2〕				
項目	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
英語の技能のうち、苦手なもの、難しいものは次のどれですか。	25.7%	8.6%	38.6%	27.1%

令和7年度1学期中間試験 記述問題

あなたが、日本食を好きな外国人におすすめの場所を紹介するなら、どこをおすすめしますか。おすすめのと、その場所の情報(有名なことや楽しめること、場所など)を3文以上の英文で書きなさい。

〔出題の趣旨〕語と語のつながり、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書くことができるかどうかを見る。

〔正答例〕 Karasawa is an ice cream shop near Onomichi Station. It was founded eighty years ago. It's famous for Monaka ice cream. The Monaka is crispy.

	3学年全体	3年2組
通過率	64.6%	51.8%

類型	解答類型	3学年全体の割合	3年2組の割合
1 ○	3文以上の英文で文法的に正しく書いている。おすすめのとその理由の文を正しく書いている。	43.9%	29.6%
2 △	3文以上の英文で書いているが、内容を理解する上で支障のない誤り(例:綴りの誤り、主語の誤り、動詞の誤り、形容詞の誤り、冠詞の誤り、前置詞の誤り等)が、1~3か所ある。	20.7%	22.2%
3 ×	3文以上の英文で書いているが、内容を理解する上で支障のある誤り(例:語順の誤り、主語の欠落、主語の誤り等)が多い。	9.8%	18.5%
4 ×	上記以外の解答(例:3文書けていない。文構造の誤り、単語の羅列)	8.5%	11.1%
0	無解答	17.1%	18.5%

〔誤答例〕動詞の重複 Okutopus is sashimi is the best.
 動詞の誤り It's knows for its octopus.
 動詞の欠落 It delicious food.

令和7年度1学期中間試験の結果から、この単元における生徒の課題は次の2点が考えられる。一つ目は、文構造や語法の理解が不十分で、語と語のつながりに注意して正しく文を書くことができない点である。特に、意味の伝達において重要な役割を担っている語順についての理解が不十分で、語順や修飾関係等における日本語との違いを理解させる必要がある。また、動詞の誤りが多く、学習したことが知識として十分に定着していない。

二つ目は、内容的にまとまりのある一貫した文章を書く力が不十分で、文と文の順序や相互の関連に注意して文章を書く力に課題がある。また、無解答率は17.1%と多く、間違えることを恐れずに1文でも書こうとする意欲を高めていく必要がある。

○ 指導観

指導にあたっては、生徒実態を踏まえ、指導改善のポイントとして、次の2点に取り組む。

1つ目の課題「語と語のつながりに注意して正しく文を書くことができない。」については、語順カードを利用して、日本語とは異なる英語の文構造を提示する。また、表現したい意味内容の日本語を、チャンクごとに英語の語順に並びかえさせることで、日本語と英語の統語的特徴の違いを理解させたい。修飾語句を、前置詞、不定詞、限定用法の分詞など様々に置き換えてドリル演習を行う中で、後置修飾の文構造を理解させる。その際、後置修飾句と被修飾語である名詞との関係を記号で表し、修飾関係が視覚的に捉えられるように工夫する。

(例) [The girl ← (playing tennis)] is Becky.
 [〈テニスをしている〉 → 女の子] は、ベッキーです。

また、日本語の文においては主語が省略される場合があるが、英文を作成する際には主語を補って考えなければならないことにも着目させたい。

2つ目の課題「内容的にまとまりのある一貫した文章を書く力が十分ではない」については、思考ツールを活用して自分の考えを整理しながらパラグラフの文章構成を考えさせる。また、まとまりのある一貫した文章を書く上で必要な結束性や一貫性について理解させるために、二種類の異なった英文を提示し、比較させることで、その違いに気づかせたい。

前述の指導のポイントを踏まえながら、本単元を展開するにあたって以下のような手立てをとる。

- (1) 生徒が主体的に学習に取り組もうとする態度を育成するために、単元の導入時に、ALT からのビデオメッセージを提示し「ALT に、日本の魅力を紹介するパンフレットを作ろう」という単元のゴールを設定する。また、単元計画表を提示し、生徒が単元のゴールに向けて見通しを持って学習に取り組むことができるようにする。加えて、生徒とループリックを共有することで、自己の学習を振り返って達成状況を確認し、次につなげていけるようにする。
- (2) 生徒の基礎的な知識・技能の定着とそれを用いて活用する力の向上を目指し、帯活動の時間で、生徒が紹介文を作成する上で参考となる表現を用いてインプット活動を行う。
- (3) 生徒の「話すこと」や「書くこと」に対する苦手意識を払拭するために、単元のゴールに向けて単元全体を通して帯活動の時間やまとめの時間で準備を積み上げていき、苦手な生徒でも1回1回の授業で分かったことが徐々に増えていくようにスモールステップで授業を構成していく。具体的には、英文を書かせる前に、日本文化紹介の英文を数種類読ませて比較させ、その中から使えそうな表現や型を抜き出し、口頭練習をして覚えさせる。また、思考ツールを活用して、思考や情報の整理をし、キーワードを基に英文を書かせる。
- (4) 個人で思考した英文をペアで交流して紹介文を作成させる。作成した紹介文を、チェックシートを基にグループ内で読み合い、意見交流をさせる。改善点を基に、スピーチ原稿を再考し、より説得力のある英文に仕上げるよう指示する。
- (5) English Day でALT に作成した英文を発表し、やり取りをした後で、コメントをもらう。そのコメントを基に、さらに英文を推敲し、パンフレットを完成させる。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

授業の展開の場面で	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 (自己を認識する力、 自分の人生を選択する力)	コミュニケーション能力 (表現する力)		
レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	(聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問することができる。	

(ミニホワイトボード等を使用して下さい)	レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。
	レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながら聞き、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。
	レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、(大人の力も借りながら)自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。		

6 単元目標

ALT などの外国人に日本の魅力を伝えるために、日本文化や他の国の文化について紹介する英文を読んだり、日本の風土や文化等について事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いたりすることができる。

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 現在完了や受け身、後置修飾の特徴やきまりを理解している。</p> <p>[技能] 日本の風土や文化等について、現在完了や受け身、後置修飾などを用いて表現する技能を身に付けている。</p>	<p>ALTなどの外国人に日本の魅力を伝えるために、日本の風土や文化等について事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。</p>	<p>ALTなどの外国人に日本の魅力を伝えるために、日本の風土や文化等について事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。</p>

8 指導計画 (全10時間)

教科・領域の本質的な問い

英語を通して、他者とのよりよいコミュニケーションを図るにはどのようにすればよいのか。

時間	学習課題 ねらい 指導内容	重点	記録	生徒の行動・思考	評価 〔評価方法〕
1	<p>学習課題：日本の魅力とは何だろうか？</p> <p>ねらい：日本紹介パンフレットに載せ</p>				

	<p>る情報を整理することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 1 (What is special about Japanese pop culture?)での紹介文を提示し、既習事項を確認させる。 ・ ALT のビデオメッセージを提示し、単元を貫く問いの設定を行う。学習計画表を提示し、今後の学習への見通しを持たせる。 ・ 日本文化を紹介するためにどんなことが必要か考えさせる。 ・ 日本文化クイズを解かせながら、日本特有のものにはどんなものがあるか考えさせる。 ・ 自分が紹介したい日本についての情報を収集し、マッピングさせる。 ・ マッピングを基に、日本について紹介文を書かせる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 1 で学習した既習事項を整理する。 ・ ビデオと学習計画表を見ることで、本単元の見通しを持ち、本単元で何ができるようになるかゴールの姿を理解する。 ・ 日本を紹介するためには、日本に関する情報や、それを表現するための英語が必要であることに気づく。 ・ 日本の魅力を伝えるための情報を整理する。 ・ 本単元学習前の自己の状況を把握する。 	<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p>
<p>単元を貫く問い</p> <p style="text-align: center;">日本の魅力はなんだろう？</p> <p style="text-align: center;">～ALT などの外国の人々に、日本の魅力を紹介するパンフレットを作ろう～</p>				
2	<p>学習課題：日本の漫画や映画の人物を紹介しよう</p> <p>ねらい：現在分詞の後置修飾を用いて日本の漫画や映画の人物を紹介することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在分詞の後置修飾の文構造を理解させる。 ・ 現在分詞の後置修飾を用いて、ペアで日本の漫画や映画の人物を口頭で紹介させる。 ・ 現在分詞の後置修飾を用いて、日本の漫画や映画の人物を紹介する文を書かせる。 ・ 現在分詞の後置修飾を用いて、自分が選んだトピックについて紹介文を書かせる。 		<p>The robot eating dorayaki is Doraemon.</p> <p>The boy fling in the sky is Nobita.</p> <p>などの表現を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介文に使えるような語彙や表現を整理する。 	
3	<p>学習課題：日本のものを紹介しよう</p> <p>ねらい：過去分詞の後置修飾を用いて日本のものを紹介することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在分詞の後置修飾を用いて、ペアで日本の漫画や映画の人物を口頭で紹介させることで、前時の復習を行う。 		<p>A furoshiki is a piece of cloth used to wrap and carry things.</p> <p>Sekihan is rice with red beans eaten on special occasions.</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・過去分詞の後置修飾の文構造を理解させる。 ・過去分詞の後置修飾を用いて、ペアで日本のもの（使われている物、食べ物、建物、行事など）を口頭で紹介させる。 ・過去分詞の後置修飾を用いて、日本のもの（使われている物、食べ物、建物、行事など）を紹介する文を書かせる。 ・過去分詞の後置修飾を用いて、自分が選んだトピックについて紹介文を書かせる。 		<p>Kinkakuji is the temple built by Ashikaga Yoshimitsu in 1397.</p> <p>Midori-no-hi is the day celebrated on May 4th. などの表現を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介文に使えるような語彙や表現を整理する。 	<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p>
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>学習課題：鳥獣戯画を紹介しよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>ねらい：鳥獣戯画について、事実と自分の意見を整理しながら紹介することができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・過去分詞の後置修飾を用いて、ペアで日本のものを口頭で紹介させることで、前時の復習を行う。 ・鳥獣戯画について書かれた英文を読ませて、発問に答えさせる。 ・読んだことを基に、その内容をマッピングさせる。 ・マッピングを基に、鳥獣戯画について口頭で紹介させる。 ・鳥獣戯画について自分の意見も交えながら、口頭で紹介させる。 ・鳥獣戯画について事実と自分の意見を整理しながら紹介文を書かせる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣戯画について書かれた英文を読んで、概要を捉える。 ・本文の内容から鳥獣戯画について説明している文を見つける。 <p>These pictures are called Choju-giga , or “Cartoons of Birds and Animals.” They were drawn over 800 years ago. It is said that they are the oldest manga in Japan. I like this scene of the frogs and rabbits enjoying wrestling. They are very funny because they are drawn like humans.</p>	
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>学習課題：分かりやすい文章にするためにはどうすればいいのだろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>ねらい：英語の文章構成について理解することができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・○風呂敷の紹介文を一文一文短冊にしたものを並べさせて原稿を組み立てさせる。 ○分かりやすい文章にするために必要な文章構成や結束性について考えさせる。 ○マッピングを基に、風呂敷について口頭で紹介させる。 ○自分が選んだトピックについて、段落構成を考え、情報を整理させる。 ○ペアで事実や互いの考えをやり取りし、新たに得た情報を付け足す。 		<ul style="list-style-type: none"> ・紹介文に使えるような語彙や表現を整理する。 ・文章が3段落構成になっていることや、接続詞や代名詞等を用いることで文と文のつながりが明確になることを理解する。 	

6	<p>【本時】</p> <p>学習課題：ALTに日本の魅力を紹介するスピーチ原稿を書こう。</p> <p>ねらい：文章構成を意識しながら、日本の風土や文化等について自分の考えも含めながら表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある文章にするためのスピーチの文章構成について再確認する。 ・スピーチ原稿の評価規準を示す。 ・自分が選んだトピックについて、文章構成を意識しながら個人で紹介文を書かせた後で、ペアで紹介文を交流する。 ・チェックシートを基にグループ内で書いた文章を読み合い、修正が必要な箇所や分かりにくい箇所に下線を入れさせる。 ・下線部を確認し、文章を修正させる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・モデル文を参考に、文章構成を考えながら、紹介文を書く。 ・個人で思考したことをペアやグループで思考することで、より正確で分かりやすい文章に修正する。 	
7	<p>学習課題：ALTに日本の魅力を紹介する発表原稿を完成しよう。</p> <p>ねらい：日本の風土や文化等について、語と語のつながりや文と文のつながりに気をつけながら、発表原稿を完成させることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ原稿の評価規準を示す。 ・まとまりのある文章にするためのスピーチの文章構成や結束性について再確認する。 ・チェックシート ・グループ内で原稿を読ませて相互評価させる。 ・改善点を基に、原稿を推敲し、完成させる。 	知 表 態	○	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の相互評価から改善点を加え、さらに情報や自分の考えを付け加えて、詳しい紹介文にする。 ・友達のコメントを基に、文を修正したり、つけ加えたりして、さらに詳しい内容の原稿に仕上げる。 	<p>ALTなどの外国人に日本の魅力を伝えるために、日本の風土や文化等について事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。</p> <p>[紹介文]</p>
8	<p>学習課題：聞き手に分かりやすいスピーチとはどんなスピーチだろう。</p> <p>ねらい：聞き手に分かりやすいスピーチにするには、音量やスピード、抑揚、間などに気を付けて、表情豊かに表現することが大切であることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルスピーチを視聴させ、話者が思いを伝えるために、どのような工夫をしているのか考えさせる。 ・自分が伝えたい語句は何か考えさせながら、原稿にアンダーラインを引かせ 			<ul style="list-style-type: none"> ・強弱、スピード、抑揚、間などを変えることにより、相手に自分の思いが伝えやすくなることに気づく。 ・モデルスピーチや友達のスーピーチから、自分のスピーチに取り入れるこ 	

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでスピーチを交流させて、相互評価させる。 ・改善点を基に、動画記録やドキュメントの音声入力を活用しながら、スピーチ練習に取り組ませる。 			<p>とができそうなことを考え、練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画記録を基に自己評価を行い、修正をすることができるようにする。 	
9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：ALT の先生たちに、日本の魅力を表情豊かに伝えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい：音量やスピード、抑揚、間などに気を付けて、表情豊かにスピーチをすることができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ発表の評価規準を示す。 ・スピーチを発表させる。 ・ALT からコメントをもらう。 ・自己評価と相互評価をさせる。 	知 表 態	○	<ul style="list-style-type: none"> ・表情豊かに伝えるために大切な音声上の留意点や発表態度について確認する。 ・スピーチの取組を振り返り、次への活動に生かす。 	ALT などの外国人に日本の魅力を伝えるために、日本の風土や文化等について事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章で伝えようとしている。〔スピーチ〕
10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：日本の魅力を伝えるパンフレットを完成しよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい：画像やレイアウトを工夫しながら、日本紹介パンフレットを完成することができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT からのコメントをもとに、改善点を付け加え、パンフレット原稿を完成させる。 	知 表 態	○	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手に分かりやすい画像やレイアウトを工夫する。 	ALT などの外国人に日本の魅力を伝えるために、日本の風土や文化等について事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章で書いている。〔パンフレット〕

9 本時の展開

(1) 本時の目標

文章構成を意識しながら、日本の風土や文化等について事実と自分の考えを整理して表現することができる。

(2) 本時の評価規準と生徒記述の例

ALT などの外国人に日本の魅力を伝えるために、日本の風土や文化等について事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章で書いている。【思考・判断・表現】

生徒の記述例

Yokan is a kind of Japanese sweets made from Azuki beans. There are many kinds of yokan in Japan. Ogi Yokan in Saga is very famous. My favorite flavor is green tea. It's very delicious. Why don't you try it?

(3) 準備物

- ・クロムブック・電子黒板・ワークシート

(4) 本時の流れ (6時間目/全10時間)

過程	<input type="checkbox"/> 学習活動 教師と生徒のやり取り	指導上の留意事項 (○) ・予想される生徒の反応 (・)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 【評価方法】
1 導入 10分			
導入	<input type="checkbox"/> あいさつ <input type="checkbox"/> 【帯活動】 Chat <input type="checkbox"/> 【帯活動】 Input 既習事項の復習 <input type="checkbox"/> 学習課題を設定する。 ALT のビデオメッセージを見る。	○英語を使う雰囲気を作る。 ○毎時間行うことで定着を図るとともに、本時での活用を促す。 ○単元のゴールを再確認させる。	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-size: small;">ICTの活用</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-size: small;">導入の工夫</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-size: small;">単元を貫く問い</div> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 学習課題 ALT に日本の魅力を紹介するスピーチ原稿を書こう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ねらい 文章構成を意識しながら、日本の風土や文化等について事実と自分の考えを整理して表現することができる。 </div>			
2 文章構成を考えながら、マッピングを基にやり取りをする。音声に慣れ親しんだ後に、スピーチ原稿を書く。(20分)			
展開前半	<input type="checkbox"/> キーワードを基に、日本の風土や文化についてペアで伝えあう。 A: What is this called? B: It's called <u>furoshiki, a piece of cloth.</u> A: When is it used? B: It's used to <u>wrap and carry things.</u> A: Why do you think it is good? B: Because it is <u>convenient and good for the environment.</u> <input type="checkbox"/> 分かりやすい文章にするために必要な文章の構成や語順、便利な表現を確認する。	○会話例やキーワードを提示する。 ○3段落構成 (opening body ending) になっていることを確認する。 ○語順カードを提示して、英語の語順を確認する。 ○学習のねらいを確認するために、評価規準 (名称や定義、詳しい説明、自分の考えの3点について書くこと) を指示する。 ・今まで使用したワークシートや表現集を参考にするように指示する。	

	<p>□モデル文の文章構成を参考に、日本の風土や文化について3段落構成でスピーチ原稿を書く。(クロームブックを使用)</p>	<p>・作業に行き詰っている生徒にはヒントカードを渡す。</p>	
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 20px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="text-align: center;">ヒントカードの一例</p> <p style="text-align: center;">語順に注意</p> <p style="text-align: center;">誰が どうする 何を どのように どこで いつ</p> <p>私たちは風呂敷を、物を包むために使います。 私たちは/使う /風呂敷を /包むために/物を We / use / furoshiki / to wrap / things. 【受け身】風呂敷は、物を包むために使われます。 風呂敷は/使われる/包むために/物を Furoshiki / is used / to wrap / things. 受け身=be動詞+過去分詞</p> </div>			
<p>3 紹介文を交流し、改善点について考える。(20分)</p>			
<p>展開 ・ 後半</p>	<p>□グループ内で紹介文を読み合い、修正が必要な箇所や分かりにくい箇所に下線を入れる。感想やコメントを記入する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p style="font-size: small;">小グループの活用</p> </div> <p>□下線部を確認し、文章を修正する。</p>	<p>○聞き手に理解してもらえそうな表現や語彙を選択するよう指示する。</p> <p>○3段落構成(opening body ending)になっているか確認させる。</p> <p>○事実と自分の意見が書かれているかどうか確認させる。</p> <p>○改善点や不足している情報などお互いに指摘し合い、より説得力のある文章に仕上げるよう指示する。</p>	<p>ALTなどの外国人に日本の魅力を伝えるために、日本の風土や文化等について事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>
<p>4 振り返り [5分]</p>			
<p>まとめ ・ 終末</p>	<p>□全体で数名が書いた文章を発表する。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>予想される生徒の記述の例</p> <p>Yokan is a kind of Japanese sweets made from Azuki beans. There are many kinds of yokan in Japan. Ogi Yokan in Saga is very famous. My favorite flavor is green tea. It's very delicious. Why don't you try it?</p> </div> <p>□振り返りを書く。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>生徒の振り返りの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化について、名称と説明、自分の考えについて書くことができた。 ・「○○○○○」についてどう書けばよいかわからなかった。 </div>	<p>○積極的に発表したことについてプラスのフィードバックをする。</p> <p>○疑問点を把握し、次時の指導に活かすため、主に疑問点について書かせる。</p> <p>○次時は、グループ交流で指摘されたことを基に、スピーチ原稿を推敲して完成させることを伝える。</p>	

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	評価規準
B（おおむね満足できる）	文章構成に基づき、日本の風土や文化等について名称や定義、詳しい説明、自分の考えの3点について書いている。
C（努力を要する）	文章構成に基づき、日本の風土や文化等について名称や定義、詳しい説明、自分の考えの3点について書いていない。

（5）板書計画

Friday, October 17th sunny 13:30 p.m.

単元名 Discover Japan

ねらい 文章構成を意識しながら、日本の風土や文化等について事実と自分の考えを整理して表現することができる。

学習課題 ALT に日本の魅力を紹介するスピーチ原稿を書こう

誰が **どうする** **何を** **どのように** **どこで** **いつ**

モデル文

A furoshiki is a piece of cloth. It is used to wrap and carry things. It is large and square, but you can fold it up and keep it in your pocket.

Furoshiki have been convenient and good for the environment. If you use furoshiki instead of plastic bags, you won't waste resources.

You can buy furoshiki in many shops in Japan. I want more people to use furoshiki.

Opening 名称・定義

Body 詳しい説明

Ending 自分の考え
おすすめポイント